

発行

(公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧名称 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

特殊詐欺被害額が過去最高です。警官を名乗る人物からの電話で、現金被害があった事案等同様の手口を参考とした心理学の実験などでは「詐欺に引っ掛かり、連絡先を伝えてしまう」など、手口はどんどん巧妙になっています。心理としては「電話に出て警察官だと言われれば、誰もが驚きます」「その時の驚きや不安で頭が一杯になってニセ警察の話聞いてしまい騙される」ようです。被害経験者は「おかしいと思ったら、逃げ出す勇気が大事」「せかされても脅されても5分待つなど落ち着いてから判断する」「相談する」を心掛けることが重要と話します。

◎特殊詐欺阻止活動実施中 ◎賛助会員募集中です。

◎SNS投資詐欺被害、自宅を手放すことに

SNS投資詐欺で約1,500万円の被害に遭った女性が自宅を手放すことに…… 他県の事例
〇きっかけは、SNSに届いた1通のメッセージになります。

台湾出身、証券会社で投資部門に勤めていると語る人物から「私は日本が大好きで、〇月に日本に旅行に行くんですが、おすすめのスポットがあれば教えてください」などとメッセージが入っています。

1か月以上、お互いの趣味の話などでやりとりを続け、被害女性は相手から紹介されたサイトに登録し、言われるがままに指定の銘柄を購入すると、10倍も増えているような数字が表示されました。

被害女性が投資の結果を見ていたサイトは、詐欺グループが作った偽サイトと考えられ、被害女性を信用させるために、サイト内の数字を操作し、投資が成功しているかのように見せかけていたのです。

その後、相手は「3,000万円投資するとポイント還元率が上がるから」などと甘い言葉で投資を再び持ちかけます。被害女性は「大金であり、準備できない」と断ると、相手は「自分がいくらか出すからその差額を埋めて」と連絡を寄越したほか、サイト上で1,000万円の暗号資産が送られてきたのです。

自分宛てに暗号資産が送られてきたことで、自分も準備しなければならないという考えになり家族と暮らす家を抵当に入れ、約900万円を用意し入金しています。しかし、その数日後、突然、口座が凍結し被害女性は凍結解除の名目で1,000万円を請求されます。女性は、慌てて相手に連絡していますが、ここでも凍結解除のための金額の一部を相手が立て替えると申し出ています。女性は何とかお金を準備して

600万円を支払いましたが、口座の凍結が解除されずに、この時はじめて詐欺と気がついたのです。

被害額は総額1,500万円、被害女性は借金を返すことができずに、家族と住んでいた家を手放すことになるのです。被害女性は〇〇警察に被害の届け出をして、現在も捜査が続けられています。

※相手を必要以上に信用することは危険です。本事例では、一度も会ったこともない見ず知らずの相手が投資金の一部援助したり、適当な理由を付けて口座凍結など、疑問点は数多くあります。特に何の保証もないのに相手の言うがままに現金を預けるなど、絶対に控えなければなりません。

◎匿名・流動型犯罪グループと暴力団の関係性～警察庁発表

匿名・流動型犯罪グループと暴力団の関係については、これまでも暴力団構成員がグループの首領やメンバーとなっていることが確認されていますが、最近の検挙事例等を踏まえれば、暴力団が複数のグループを配下に置き、犯罪行為を分担させることで、犯罪の不透明化を図るほか、暴力団構成員が減少する中で、グループの人的資源を利用しながら、資金獲得活動の多様化を図っている状況も認められます。※資金を獲得し活動費を得ることで、さらなる犯罪が増えます。特殊詐欺に要注意です。